

第2章. さいたま市の特性

- 2-1. さいたま市の概要
- 2-2. 人口の推移
- 2-3. 人口・被保険者数の推移
- 2-4. 被保険者の人数構成
- 2-5. 被保険者の年齢構成比の推移
- 2-6. 被保険者の異動の状況
- 2-7. さいたま市の受療状況
- 2-8. さいたま市の病床・医師・診療所数
- 2-9. 食の状況

《第2章. さいたま市の特性》

2-1. さいたま市の概要

さいたま市は、平成13年5月1日に浦和市・大宮市・与野市が合併し、平成15年4月1日には全国で13番目の政令指定都市に移行、また平成17年4月1日には岩槻市と合併し、10の行政区を設置している。

市域は、東西約19.6km、南北約19.3km、面積は217.43km²で、見沼田圃や荒川河川敷など、様々な生物が生息する緑地や水辺が残されている。

市内には新幹線や在来線、私鉄などの鉄道網が整備されている。中でも大宮駅は新幹線をはじめとする鉄道線が集まる結節点であり、東日本の玄関口としての役割を果たしている。また道路網は、国道や東北自動車道、東京外かく環状道路などが整備されている。

市内主要駅周辺では、商業・業務機能、行政機能、文化機能などが集積しており、市街地再開発事業などの推進により、情報機能、コンベンション機能など、地域の個性を生かしたより高度な都市機能の整備が進められている。

自然の豊かさや交通の便に恵まれたさいたま市は、現在も人口が増加しており、発展を続けている。

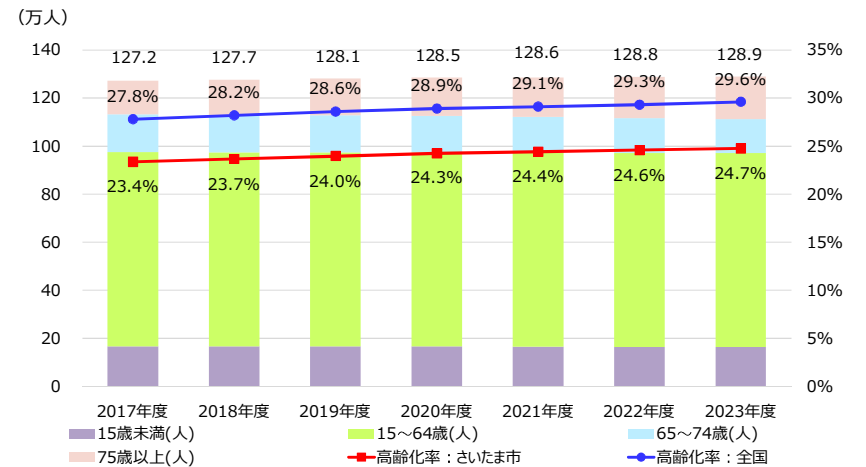


《第2章. さいたま市の特性》

2-2. 人口の推移

年齢区分別人口の見通し

資料：平成27年国勢調査結果に基づき将来人口推計より

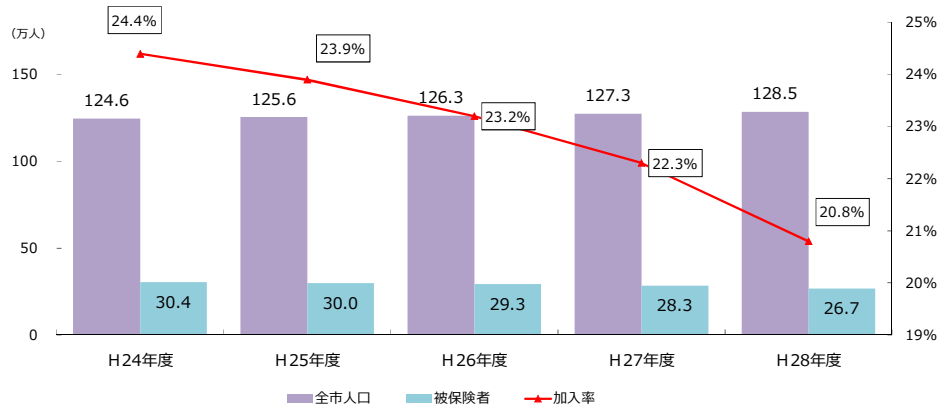


➤ 高齢化率は全国に比べ低いものの、**上昇傾向にある。**

2-3. 人口・被保険者数の推移

人口、被保険者数の推移

資料：さいたま市の国民健康保険より

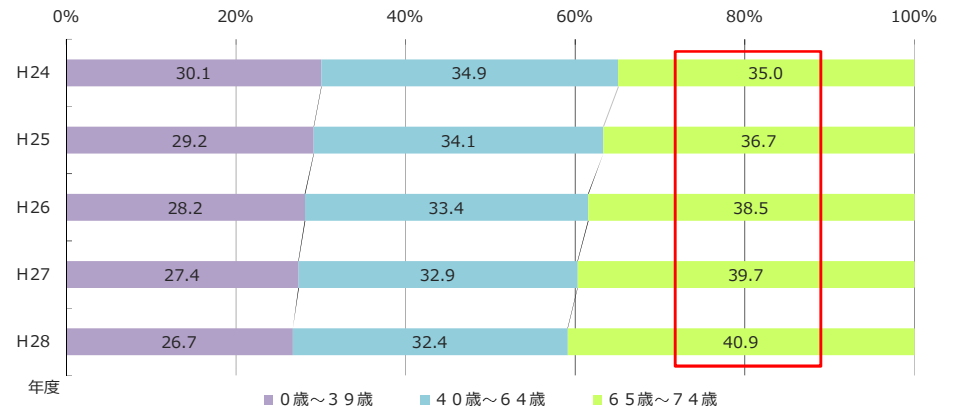


➤ 人口は**増加**しているものの、被保険者数、加入率は年々**減少**している。

2-5. 被保険者の年齢構成比の推移

被保険者の年齢構成比

資料：さいたま市の国民健康保険より

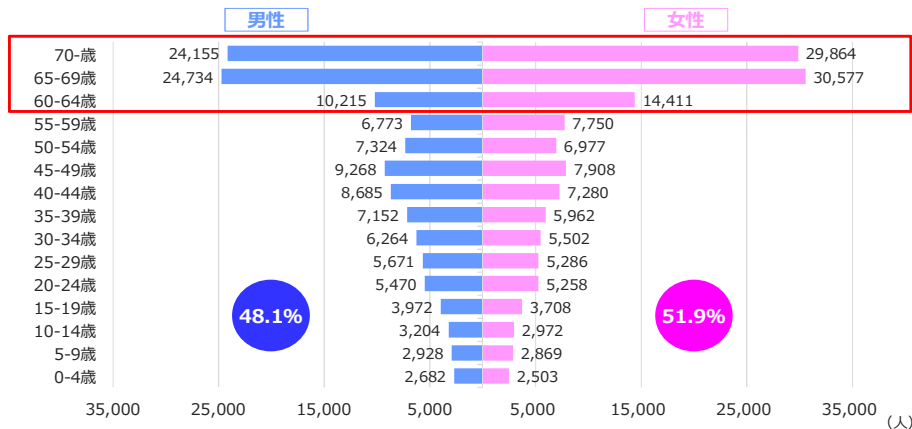


➤ 0～64歳は**減少**傾向であり、65～74歳は**増加**傾向にある。

2-4. 被保険者の人数構成

被保険者人数構成 (平成28年度末現在)

資料：さいたま市の国民健康保険より



➤ 60歳以上で約半数 (50.1%) を占めている。

➤ 男女比は、女性の割合が若干高い。

2-6. 被保険者の異動の状況

被保険者異動状況 (人)

資料：さいたま市の国民健康保険より

年度	資格取得							資格喪失						差引増減	
	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期非該当	その他	計	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期該当	その他		計
23	11,292	35,932	450	1,315	2	3,002	51,993	9,235	26,458	1,989	1,708	9,052	3,273	51,715	278
24	11,704	34,740	731	1,229	7	1,897	50,308	8,898	27,250	1,780	1,796	9,658	2,981	52,363	▲ 2,055
25	12,254	33,763	851	1,249	3	1,671	49,791	8,923	28,908	1,572	1,761	9,130	3,339	53,633	▲ 3,842
26	12,067	32,682	741	1,135	2	1,500	48,127	8,613	30,399	1,480	1,733	9,778	3,236	55,239	▲ 7,112
27	12,475	31,823	742	1,068	3	1,527	47,638	8,564	30,948	1,305	1,649	10,973	3,545	56,984	▲ 9,346
28	12,560	30,871	680	1,037	2	1,518	46,668	8,168	35,462	1,364	1,670	11,994	4,048	62,706	▲ 16,038

➤ 転入人数は**増加**しているものの、被保険者は年々**減少**している。

➤ 資格喪失 (脱退) 理由は「社保加入 (社会保険への加入)」「後期該当 (後期高齢者医療制度に移行)」が多く、年々**増加**している。

2-7.さいたま市の受療^{*1}状況

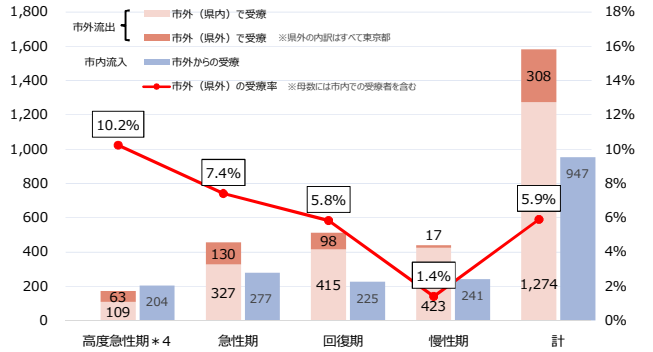
さいたま市の医療機関数

資料：さいたま市保健所調べ（平成29年11月末現在）

病院	37軒
一般診療所 ^{*2}	935軒
特定健康診査等実施医療機関数 (国保人間ドック実施医療機関含む)	385軒
特定の医療機能 ^{*3} を有する病院	
・さいたま赤十字病院 ・さいたま市立病院 ・自治医科大学附属さいたま医療センター ・埼玉県立小児医療センター ・さいたま市民医療センター	

入院患者の受療状況（市外流出・市内流入）

資料：埼玉県地域医療構想（平成25～29年度）より



- 県内の周辺市から患者を受け入れる一方、多くの患者が**周辺市や東京都で受療**している。
- 市外から市内での受療（市内流入）に比べ、**市内から市外での受療（市外流出）が上回っている。**
- 県外での診療は、すべて**東京都**で受けており、**急性期**であるほど受療をしている割合が多い。

*1：病院あるいは診療所に入院または外来患者として治療のために通院すること
*2：患者の入院施設を持たないもの、またはベッド数19床以下のもの

*3：救命救急センター・周産期母子医療センターなどの医療機能
*4：救命救急病棟や集中管理室などでの重症者に対する医療密度が特に高い医療

2-9.食の状況

資料：総務省統計局統計データより

一世帯当たりの食品支出数量等の状況

一世帯当たりの食品の支出についての品目別年間ランキング（平成26年～28年平均）
家計調査（二人以上の世帯、都道府県庁所在地及び政令指定都市（52市））

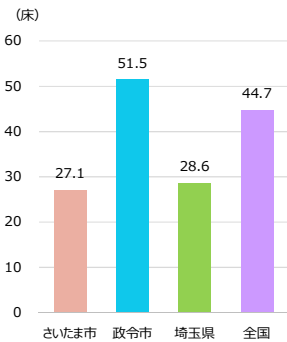
油脂・調味料等		炭水化物を多く含む食品		酒類		外食	
ドレッシング	1位	スパゲティ	1位	ウイスキー	2位	食事代 [*]	5位
油脂・調味料 [*]	3位	中華麺	8位	ワイン	5位	(喫茶代・飲酒代は除く)	
食塩	16位	穀類 [*]	10位				
梅干し	4位						

*については、年間支出金額、それ以外は支出数量（Kg等）

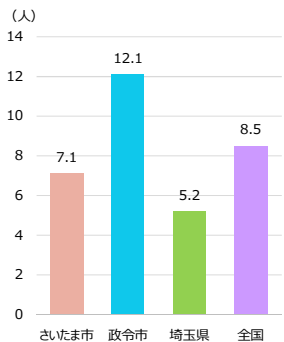
- **油脂・調味料等が上位**に入っている。
- **外食が続くと、食塩や脂質のとり過ぎが懸念**される。
- **炭水化物を多く含む食品が上位**に入っていることから、**糖質のとり過ぎに注意**が必要である。

2-8.さいたま市の病床・医師・診療所数

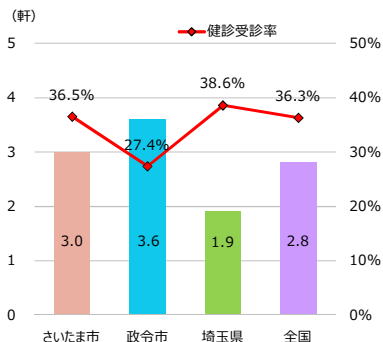
千人当たり病床数比較



千人当たり医師数比較



千人当たり診療所数と特定健診受診率比較



資料：KDB（健診・医療・介護データからみられる地域の健康課題）（平成27年度）より

- 千人当たり病床数は、一番**少ない**。
- 千人当たり医師数は、埼玉県より多いが、**政令市、全国に比べ少ない**。
- 千人当たりの診療所数は、**政令市に次いで多く**、特定健診受診率は埼玉県に次いで**高い**。